

事業レビュー



第2回 企画展「古墳時代“黄泉の国”の考古学」

10月29日(土)～12月11日(日)にかけて平成28年度第2回企画展「古墳時代“黄泉の国”の考古学」を開催しました。古事記や日本書紀に描かれた「黄泉の国」のイメージはどのようにして生まれてきたのか、横穴式石室や横穴墓の資料からその過程を探ってみました。



黄泉の国ウォーキング

第2回企画展関連事業として、12月3日(土)に「黄泉の国ウォーキング」を開催しました。暖かい日差しの下、大安場史跡公園近辺に所在する蝦夷穴横穴墓群と妻見塚古墳群を歩いて巡った参加者のみなさんは、歴史探検とウォーキングの両方をお楽しみいただけました。



紙すき体験

12月4日(日)に紙すき体験を開催しました。海老根伝統手漉和紙保存会の皆さんを講師としてお招きし、中田町海老根地区に伝わる伝統的な和紙作りの技を教えてくださいました。参加者のみなさんは講師の指導を受けながら1人3回の紙すきを体験し、昔ながらの和紙を作りました。



大安場史跡公園管理センター

(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

住所:福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地
電話:024-965-1088 FAX:024-965-1090
Mail:oyasuba@bunka-manabi.or.jp
休館日:月曜日(月曜日が祝日の時は次の休みでない日)
※公園は年中無休です。

ウェブサイトもチェック!

大安場史跡公園 検索



おおやすばしせきこうえん
大安場史跡公園

まるさんかくしかく

タイトルはまるい石劔、さんかくは古墳の前方部しかくは後方を表現しています。



大安場史跡公園 キャラクターの愛称が

「**大安場くん**」
に決まりました!



なまえをつけてくれて
どうもありがとう
ございます!

大安場古墳の形(前方後方墳)がモデルで、古墳から発見された腕輪型石製品を頭と胸につけ、古墳や史跡公園の案内役として活躍しています。

皆さんご存知、当園の案内役として活躍しているキャラクターの愛称が「大安場くん」に決まりましたので発表いたします。

愛称の決定にあたりまして、9月1日から9月30日までの募集期間内に500通を超えるご応募をいただいておりますが、厳正なる審査と抽選を経て、田村京子様(市内安積町の「大安場くん」)が最優秀賞として採用されました。

去る11月5日(土)には、優秀賞に選ばれた

「こぶんくん」「こぶりん」の作品をそれぞれご応募いただいた鈴木勝子様(白河市)・加藤杏菜様(市内方八町)と共に表彰式に臨まれ、当公社代表理事 藤川英敏から賞状と副賞が授与されました。

なお、当日は当園ボランティアスタッフの制作した愛称のモニュメントも当大安場史跡公園管理センター所長 押山雄三の発声で披露され、会場に詰めかけた多くの来園者の皆さんから拍手が寄せられました。

モニュメントを制作しました

当園ボランティアによるモニュメント制作は4月からスタートしました。



場所決め・草刈り



枠設定



うわあ、
みんなてつくて
くれたんだねえ!



石詰め



完成

表彰式の様子



愛称モニュメントのお披露目の様子



表彰式に出席した皆さんと1匹



表彰される最優秀賞受賞者

入賞者の皆さん、おめでとうございます。そして、ご応募いただきました皆さん、本当にありがとうございました。これからも「大安場くん」、そして大安場史跡公園をご愛顧下さりますようお願いいたします。

ボクのためにこんなに
来てくれてありがとう。
これからも頑張ります!



たくさんのご応募ありがとうございました!

大安場史跡公園キャラクター愛称の応募状況について、次のように506通のご応募があり、性別では男女がほぼ同数、年齢構成は10代以下が約半数、お住まいは7割が市内を占めました。応募者の傾向としては、市内の小中学生の関心の高さがうかがえました。

※データの「不明」は未記入

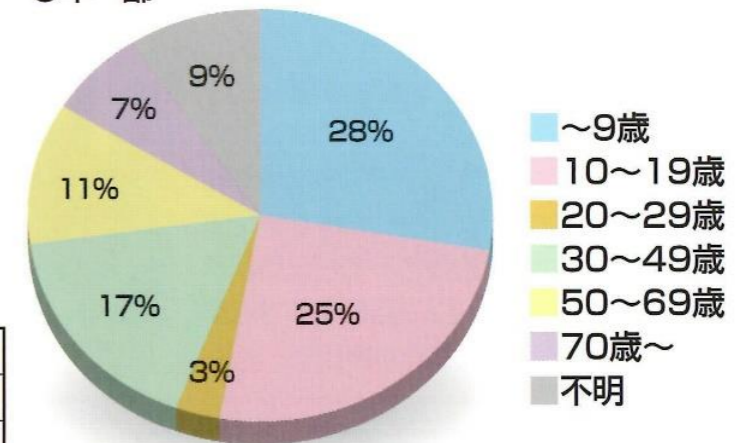
●性別

男性	女性	不明	
244	234	28	506通
48%	46%	6%	100%

●お住まい

市内	市外	不明	
352	120	34	506通
70%	24%	7%	100%

●年齢



お住まいについて、市外内訳は県内市町村をはじめ、秋田県～和歌山県にわたりました。本当に広範囲からのご応募に感謝いたします。